



第793号 2013年4月21日発行 日本共産党裾野支部

明るい裾野



小沢良一 tel 992-0875 fax993-8141 深良27-2

岡本和枝 tell/fax 992-5174 茶畑 854-3 E101

http://www16.plala.or.jp/ozawa_ryouiti

peace_love_cabird@yahoo.co.jp

困ったことがあったら小沢、岡本のなんでも相談へ

①犬と仲良しのカルガモ、②原発をなくす会が市内放射線測定、③3月議会での小沢議員の質問から「バイオ燃料」、④「ここどこ」は水天宮の歩行者用の橋、⑤どうなる？駅前駐車場

ぼはカルガモの「ゴン」
マメちゃん（柴犬）が
気に入って
住み着いてしまいました



オイラがゴンだ



ゴンとマメ

2013/04/19

ぼくはカルガモの「ゴン」です。柴犬のマメちゃんが気に入ってしまい、富沢に住み着いてしまいました。朝夕には、お母さんかお父さんと散歩しています。マメちゃんは首輪とひもで散歩ですが、ぼくはフリーです。ときどき、気持ちよく「グワッ、グワッ」と鳴きながら、お尻ふりふり歩いています。

テレビにも出たことあるんだよ。4チャンネル。見たことある人、いるかな？足の下の毛布は、ボクの暖かい寝床。居心地がいいので飛べるのを忘れてしまいそうだ。ときどき、背伸びのついでに羽根をバサバサしてるけどね。

…雑学… 富沢には、「服部」姓と「渡辺」姓が多くあります。このどちらも日本人の姓としては最も古いものとされています。^{はたおりべ}「機織部」が服部に、渡辺は、「源頼光四天王筆頭の渡辺の綱」を始祖とするとあり、どちらも由緒ある姓。そもそも富沢は、縄文時代から梅木沢を中心に発展存在した地域だと思います。まさに富沢。

原発をなくす会」が、放射能汚染測定と市内の自然エネルギー探索を行いました。



参加者は 12人。これは須山の最終処分場入り口

4月13日、「原発をなくす会」が第2回の市内の放射線量測定会を行いました。今回は、愛鷹山の谷筋の奥を重点に測定。谷筋の奥では $0.05 \sim 0.07 \mu\text{Sv}$ の計測もありました。山の汚染は半減期を待つより仕方がないのが現状です。



第1発電所から第2発電所への導水管

2013/04/13

市内の自然エネルギーとして、深良用水にある東京発電の第2発電所と第3発電所の小水力発電を外部から見学。

次に、深良新田の O さんたちのグループが行っている太陽光発電を見学しました。「芝農地に替わる利用法として太陽光発電」の説明をしていただきました。

南向き緩斜面に設置された太陽光発電。この直ぐ下の隣地からも要望があり、



芝地に設置された太陽光発電

太陽光パネルが設置されています。遊休地の利用として考えている方は相談に乗ると言っています。

で、この太陽光発電の直ぐ東側に「深良地区慰霊碑」があり、慰霊塔を見るとてっぺんに鳩の飾りがあります。慰霊碑には、「戦争被害者の霊を慰めると共に、深良地区の平和のシンボルとして慰霊碑を建立した」とありました。

でも、この鳩、ちょっと太め。



大橋市政のおかしな人事 臨時保育士が深良保育園 の園長就任

裾野市の臨時職員の雇用は「市正規職員の補助を行う」としています。

今年の4月の人事配置が3月15日に

発表されました。その中で臨時保育士が深良保育園園長に就任することに。

臨時保育士は正規保育士の業務補助を行うのが雇用の約束です。それがそうではなく園の管理と保育行政を行う頂点に存在するなどあり得ない人事です。

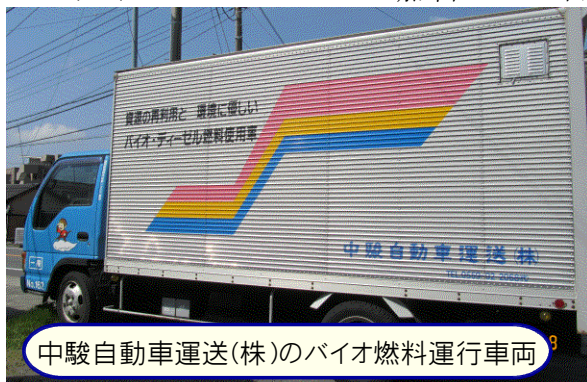
これは正規保育士の雇用を減らし、市民の保育要求を臨時保育士で(市の保育行政を)行ってきた結果です。

この件で、市自らが定めた就業の規則を問題として指摘するのは、共産党議員団のみで他の議員や会派は一切口にしません。市議会議員としての存在が問われる問題ではないでしょうか。

小澤良一議員の 3月議会一般質問から 廃食用油をリサイクルしてバ イオディーゼル燃料に

廃天ぷら油を燃料にして2トン車のディーゼルトラックが裾野市内を走行しているのをご存知ですか。裾野市の給食センターから市内5中学校、富岡第2小学校、南小学校に給食を運ぶために走行しています。

市内運送会社社長が、廃天ぷら油を加工しディーゼルエンジンの燃料として自



中駿自動車運送(株)のバイオ燃料運行車両

家用車で実証走行試験し、導入しているものです。廃天ぷら油は裾野市や長泉町の給食センターから出るものを利用しています。

共産党の小澤議員は、裾野市民や県トラック協会でも1年間大型トラックで実証試験走行をして使えるとしている、廃天ぷら油の加工燃料(バイオディーゼルエンジン燃料)を裾野市で活用してはどうかと行政の考えを聞きました。

答弁に立った市民部長は、「裾野市で実施可能か検討していく」と答弁しました。

これから市民の厨房から出る廃天ぷら油をどのように回収し、燃料として加工、給油車両の選定と課題がありますが、一般ゴミとして捨てられている油が燃料として活用できるなら、二酸化炭素の排出抑制と燃料費(廃油は軽油取引税の対象にならず税金が免除されます)の低減に繋がっていく可能性が広がって行きます。又、休耕田畑を利用して菜の花栽培と菜種油の収穫販売などでできれば良いと考えるのですが。どうでしょうか。

駅西前の市営駐車場、なくな って不便。どうなるの？

駅西区画整理事業のため廃止になった市営駐車場。駅周辺には時間貸しの駐車場もなく、とても不便な毎日、という声が編集部に寄せられました。早速、市へ。

市の商工観光課では、空いている土地の利用の交渉など、大変苦労されているということでした。そもそも、駅西区画整理事業が始まる前の話として、「商店街用の駐車場を市で作ってくれ」という

要望があり、それが区画整理事業へと替わっていった話ではなかったかと思いますが、そのとっかかりの駐車場が消えてしまっている現状を、区画整理事業の進行の中でなんと考えているのでしょうか。駐車場用の自動整理機は確保・保存されているようなので、早く市営駐車場を復活させて欲しいですね。



どうなる？ 更地になってしまった駅西駐車場



大柄沢川編の最後です。黄瀬川からの分流である大柄沢川は五竜の滝左岸(雌滝)で黄瀬川に合流します。以前の「中州」シリーズでも紹介したところです。

ここには水の神様である水天宮が鎮座しています。水天宮は「分水・配水を司る水分神(みくりまりのかみ)」でもあると佐野2区が設置された説明版にあります。

した。大柄沢川本流はここで黄瀬川に戻りますが、大柄沢川の分流はさらに下って二ツ屋に至っています。小柄沢川は震橋のところで大柄沢川から分流したものです。水分神は、分水、配水の神で、田畑の神、灌漑の神、農業守護の神、産業殖産の神、水難除けの神、安産の神として崇敬される由緒ある神であるとも説明版にはあります。

水天宮のすぐ前にある歩行者用の橋は階段を上り下りする形の一段高い造りになっています。橋から下をのぞくと五竜の滝の左岸です。



水天宮から少し上ったところにも歩行者用の橋があり、黄瀬川左岸の遊歩道へと続きます。



編集後記：3月始めから続いていたひどい花粉症もようやく治まってきました。今年花粉症はひどかったですね。みなさんはいかがでしたか。(友)